

School Guide 2025

伝統ある脇町高校は常に前進を続けます。

校訓
質実剛健

設置学科
普通科（令和6年度 入学定員 165名）

沿革	
1896(明治29)年 4月 1日	徳島県尋常中学校第一分校として開校
1899(明治32)年 3月31日	徳島県脇町中学校として独立
1901(明治34)年 7月 1日	徳島県立脇町中学校と改称
1948(昭和23)年 4月 1日	徳島県立脇町高等学校設置
1956(昭和31)年 4月 1日	徳島県立脇町高等学校と改称
1968(昭和43)年 4月 1日	理数科設置(昭和55年 募集停止)
1996(平成 8)年11月16日	創立100周年記念式典挙行 新体育館完成
2004(平成16)年 7月 1日	全普通教室と特別教室(5室)に エアコン設置
2006(平成18)年11月11日	創立110周年記念式典挙行
2009(平成21)年 4月27日	校内TV放送「うだつ放送局さくら スタジオ」設置
2010(平成22)年 4月 7日	スーパーサイエンスハイスクール (SSH)に5年間指定(第1期)
2015(平成27)年 4月 1日	スーパーサイエンスハイスクール (SSH)に5年間指定(第2期)
2016(平成28)年10月12日	創立120周年記念式典挙行
2019(令和元)年 8月 1日	全普通教室に電子黒板設置
2020(令和 2)年 4月 1日	スーパーサイエンスハイスクール (SSH)に5年間指定(第3期)

校歌
土井 晩翠 作詞
竹 澤 貞次郎 作曲

- 見よ彼の蒼天雲行く処
凌ぎて聳ゆる高越の山を
我らの意気はたかかれと諭す
有象の訓を銘ぜよ胆に
- 聞けこの涼々岸嘯む処
日に夜に止まざる吉野の水を
我らの励みもかかれと示す
自然の誠わするな夢寐に
- ああ我が青春数百の子弟
脇町高校教への庭に
未来の成業心に描き
希望の光を追ひ行くものよ
- 汝の理想を高きに掲げ
汝の歩みを大地に進め
ゆるまずせかず遠きに至れ
高山流水教へは彼れに



旧校舎

資料館

記念碑(野球・ラグビー)

百周年記念モニュメント



徳島県立脇町高等学校
WAKIMACHI HIGH SCHOOL



徳島県立脇町高等学校

〒779-3610 徳島県美馬市脇町大字脇町1270-2
TEL 0883-52-2208 FAX 0883-53-9875
HOMEPAGE : <https://wakimachi-hs.tokushima-ec.ed.jp/>

～目次～

脇高教育	1
科学的思考力	2
学校生活	3
部活動	4
進路	5
卒業生より	6

新しい時代に対応した協高教育

■ スクール・ミッション

全教科・科目で取り組む「協働的問題解決学習」と、県内外の大学や地域との連携によるビッグデータやIoT/AIを活用した「課題研究」などをとおして、科学的・論理的思考力を培い、各分野で活躍できる力を育成します。

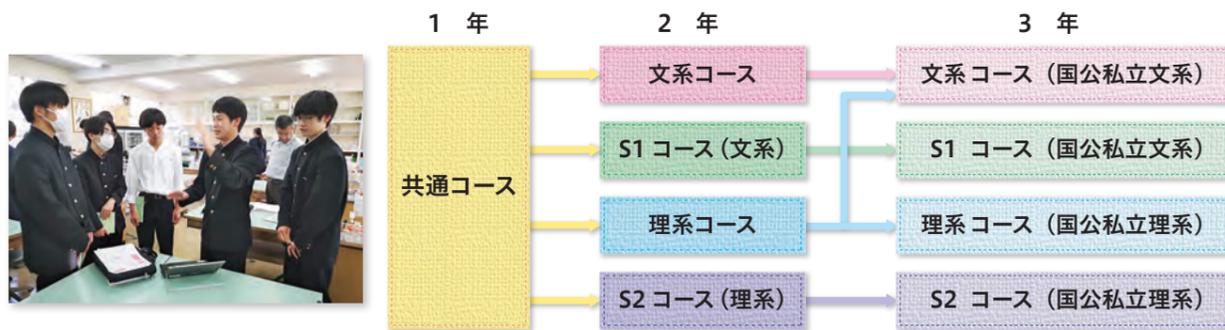
■ 教育に関する方針及び教育活動の内容

- 大学進学に適したカリキュラム設定により、進路実現を支援します。
- グループワーク等の協働的な授業展開を全教科で実施します。
- SDGsを前提とし、課題解決に向けた探究活動に取り組みます。
- SSHコースでは「探究科学I・II」を特設し、課題研究に取り組みます。
- 大学や企業、NGO、行政機関等と連携した実践的な学習活動が豊富です。
- SSH指定を活かした「屋久島研修」や「台湾研修」を実施します。
- 部活動や生徒会活動に加え自主活動にも活発に取り組めます。



■ コース編成 (令和7年度)

大学進学に適したコースを中心に、各種専修学校や公務員・就職にも対応したカリキュラム（教育課程）を用意しており、一人ひとりの生徒の進路に応じて、最適なコースを選択することができます。カリキュラムは1年次には必修教科を中心に全クラス共通で2年次、3年次と学年が進むにつれて、個々の希望や適性を活かすように工夫しています。また、令和2年度入学生から生徒の希望と習熟度に応じて、文理融合の応用クラスを各学年に1クラス設けています。



※S1、S2コースは週2〜3時間の探究活動を行います。

■ 令和7年度入学生教育課程表 (※SSH第4期認定された場合)

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
1年	共通コース	現代の国語	言語文化	歴史総合	地理総合	数学I	数学A	数学II	物理基礎	生物基礎	体育	保健	音楽I	美術I	書道I	英語コミュニケーションI	論理・表現I	家庭基礎	情報I	総合	HR															
	文系コース	論理国語	文学国語	古典探究	世界史探究 日本史探究 地理探究	公共	数学II	数学B	数学C	物理基礎	化学基礎	地学基礎	体育	保健	音楽II	美術II	書道II	英語コミュニケーションII	論理・表現II	家庭基礎	情報II	総合	HR													
2年	S1コース	論理国語	文学国語	古典探究	世界史探究 日本史探究 地理探究	公共	数学II	数学B	数学C	物理基礎	化学基礎	地学基礎	探究科学I	体育	保健	音楽II	美術II	書道II	英語コミュニケーションII	論理・表現II	家庭基礎	情報II	総合	HR												
	理系コース	論理国語	古典探究	世界史探究 日本史探究 地理探究	公共	数学II	数学B	数学C	物理基礎	化学基礎	化学	探究科学I	体育	保健	音楽II	美術II	書道II	英語コミュニケーションII	論理・表現II	家庭基礎	情報II	総合	HR													
3年	文系コース	論理国語	文学国語	古典探究	世界史探究 日本史探究 地理探究	政経	総合数学A	総合数学B	生物演習	化学演習	地学演習	毛筆	情報演習	総合	HR																					
	S1コース	論理国語	文学国語	古典探究	世界史探究 日本史探究 地理探究	政経	総合数学A	総合数学B	探究科学II	生物演習	化学演習	地学演習	毛筆	情報演習	総合	HR																				
3年	理系コース	論理国語	古典探究	世界史探究 日本史探究 地理探究	数学III 総合数学A	総合数学B	物理基礎	化学	探究科学II	体育	英語コミュニケーションIII	論理・表現III	情報演習	総合	HR																					
	S2コース	論理国語	古典探究	世界史探究 日本史探究 地理探究	数学III 総合数学A	総合数学B	物理基礎	化学	探究科学II	体育	英語コミュニケーションIII	論理・表現III	情報演習	総合	HR																					

※「国語探究」、「総合数学」、「生物演習・化学演習・地学演習」、「毛筆」、「情報演習」は学校設定科目。「探究科学I」、「探究科学II」、「情報探究」はSSH設定科目
※「総合」は「総合的な探究の時間」を表す。
※ SSH教育課程の特例：探究科学I(2単位の内、1単位は総合的な探究の時間の代替として実施) 探究科学II(3単位の内、1単位は総合的な探究の時間の代替として実施)



科学的思考力の育成をめざして

協高 SSHは、全生徒を対象に科学的思考力を育成するプログラムを実践し、Society5.0社会において社会の課題解決を担える人材の育成を目指します。



SSH (スーパーサイエンスハイスクール) 校は、文部科学省から指定を受け、学習指導要領によらないカリキュラムの開発・実施や課題研究の推進、観察・実験等を通じた体験的・問題解決的な学習を実践しています。(全国で218校：令和5年度)

協高 SSH指定歴 1期目：平成22年～平成26年 2期目：平成27年～令和元年 3期目：令和2年～

プログラム	内容 / 「キーワード」	対象
協働的問題解決学習	全教科・科目で取り組む、生徒・教員が協働し問題解決を図るアクティブラーニング型の学習モデル。「ICTの活用や教科横断の視点を取り入れた対話的で深い学びの実践」	全生徒対象
SW-ing アカデミー	科学への興味・関心を高めるため、世界の最前線で活躍する研究者を招いての講演会や講義等。「サイエンスカフェなどインタラクティブな研究者との交流」	全生徒対象
SW-ing チャレンジ	校内外で行われる様々なプログラムや資格試験への積極的な挑戦。記録はポートフォリオとして記録。「主体的に学ぶ意欲を喚起し進路選択の視野を広げる」	全生徒対象
SW-ing キャンプ	台湾での海外研修。現地研修では、英語によるポスター発表や現地高校の生徒とのディスカッション、日本人研究者との座談会等を実施。「徳島大学と連携した語学研修や豊富な国際交流体験」	2年生希望者
SW-ing リサーチ ローカルアクト	自分たちが住む地域の課題を見つけ、その課題解決を図る課題研究。「データサイエンスを駆使し、自分の住む地域を再認識する」	1年生
SW-ing リサーチ グローバルアクト	SDGsから自らテーマを設定し取り組む課題研究。「協高を飛び出し、社会の課題解決に向けアクションを起こす」	2・3年生 文理コース
探究科学I・II	文理融合クラスで実践する自然科学分野や情報科学分野に関する課題研究。「京都大学や研究機関等とのICTを活用した連携体制を構築する」	2・3年生 S1・S2コース
探究部	多様な主体と連携し地域のリアルな課題に取り組む課題研究。「AI技術などを活用した鳥獣被害やスマート農業などの実践」	希望者
SW-ing ゼミ	課題研究のさらなる充実を目指した外部機関による高度な講義や実習、フィールドワーク。「東京大学と連携したIoT/AI研修などの実践」	希望者



Society 5.0

